

報告事項

【学会活動報告】

1. 2009 年 10 月～2010 年 10 月での主な活動（会長 菊池武尅）

- ・研究大会・研究セミナーの開催：
第 31 回研究大会（大会実行委員長 後藤宗理、2009 年 11 月 7 日（土）・8（日）、椋山女学園大学星が丘キャンパス）
第 28 回研究セミナー（実行委員長 五十嵐敦、2010 年 7 月 4 日（日）、エルパーク仙台セミナーホール）
- ・学会誌、ニューズレターの発行：
『キャリア教育研究』第 28 巻第 2 号（2010 年 3 月 31 日発行） 第 29 巻第 1 号（同 9 月 30 日発行）。
ニューズレター第 64 号（2010 年 3 月 31 日）、第 65 号（同 5 月 30 日）、第 66 号（同 9 月 31 日）

2. 会員の状況（事務局長 中村修）

2009 年度の定期総会（2009 年 11 月 7 日）より 2010 年度第 1 回理事会（2010 年 10 月 2 日）までに 98 名、2 団体の新会員が承認され入会した。退会者は 57 名、2 団体、物故者 3 名である（入退会とも資料 1 参照）。したがって、2010 年 10 月 2 日における会員数は、一般会員 922 名（内、一般(学生)会員は 100 名）、名誉会長 1 名、名誉会員 6 名、賛助会員 7 団体である。

*総会成立要件については、2010 年度第 1 回理事会（2010 年 10 月 2 日）において入会、退会等の承認を受けた一般会員数 922 名を適用する。

3. 会議の開催等（事務局長 中村修）

- ・会議の開催
09 年度第 2 回常任理事会 2009 年 12 月 26 日（土）国際文献印刷社江戸川橋会議室
09 年度第 3 回理事会 2010 年 4 月 24 日（土）国際文献印刷社江戸川橋会議室
10 年度第 1 回常任理事会 2010 年 6 月 19 日（土）国際文献印刷社江戸川橋会議室
10 年度第 1 回理事会 2010 年 10 月 4 日（土）国際文献印刷社江戸川橋会議室
10 年度第 2 回理事会 2009 年 11 月 13 日（土）新潟大学
- ・会議等への参加（役員・委員の出張）
心理学諸学会連合：（2009 年 12 月 23 日（水）会長）
日本進路指導協会：
代表者会議（2010 年 9 月 28 日（火）会長）
会長感謝状贈呈者選定会議（2010 年 6 月 15 日（火）事務局長）
第 58 回全国進路指導研究協議会全国大会（2010 年 7 月 28 日（水）会長）
スクールカウンセリング推進協議会（2009 年 11 月 13 日（金）、2010 年 4 月 29 日（土）、6 月 21 日（月）、8 月 9 日（月）、9 月 27 日（月）すべて会長）
- ・共催・後援など
第 16 回専門学校教育研究会（（社）東京都専修学校各種学校協会 2010 年 3 月 5 日）
日本産業カウンセリング学会第 15 回大会（2010 年 9 月 18 日～20 日開催）
第 36 回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会埼玉大会（2010 年 11 月 11 日、12 日開催）
バーチャル・カンパニートレードフェア 2010 京都
（NPO アントレプレナーシップ開発センター 2010 年 11 月 19 日～21 日開催）

【委員会報告】

1. 学会誌編集委員会報告（委員長 古市裕一）

1. 学会誌編集・発行状況

- (1) 『キャリア教育研究』第 28 巻第 2 号の発行（2010 年 3 月 31 日付）
『キャリア教育研究』第 29 巻第 1 号の発行（2010 年 9 月 30 日付）
- (2) 論文の投稿・審査状況
 - ・2009 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日受稿論文数 13 編
 - ・2010 年 1 月 1 日～ 9 月 30 日受稿論文数 10 編
(内訳は、展望論文 3 編, ケース研究論文 2 編, 実践研究論文 2 編, 資料論文 2 編, SR 1 編。)
 - ・2010 年 9 月 30 日時点での論文審査状況

採択済み	1 編
査読・審査中	10 編
投稿者修正中	4 編

2. 「論文審査内規」の改正

「論文審査内規」を一部改正した（2009 年 12 月 26 日）。

【改正前】

4. 各審査者の審査結果は、次の 4 つのいずれかにより報告され、あわせて常任編集委員会及び著者あての意見が付される。
 - (a)採択：このままの形で掲載してよいと判断されるもの。字句などのわずかな修正を要するものも含む。
 - (b)修正採択：実質的な修正を条件として採択するもの。
 - (c)修正再審査：大幅な修正が必要であり、採択・不採択の決定は修正の後に判断されるもの。
 - (d)不採択：本誌の主旨に合わないものや、修正を行っても掲載に値するとは判断できないもの。
5. 各審査者による結果にもとづき、常任編集委員会で合議の上、上記(a)から(d)のいずれかの結果に決定する。

【改正後】

4. 各審査者の審査結果は、次の 4 つのいずれかにより報告され、あわせて常任編集委員会及び著者あての意見が付される。
 - (a)採択：このままの形で掲載してよいと判断されるもの。字句などのわずかな修正を要するものも含む。
 - (b)修正採択：実質的な修正を条件として採択するもの。
 - (c)修正再審査：大幅な修正が必要であり、採択・不採択の決定は修正の後に判断されるもの。
 - (d)不採択：本誌の主旨に合わないものや、修正を行っても掲載に値するとは判断できないもの。
5. 各審査者による結果にもとづき、常任編集委員会で合議の上、上記(a)から(d)のいずれかの結果に決定する。なお、同一論文についての「(c)修正再審査」との決定は原則として 3 回までとし、常任編集委員会は、それまでに「(a)採択」・「(b)修正採択」か「(d)不採択」の決定を行うように努める。

学会ホームページに掲載。

3. 「論文投稿に際しての編集委員会からのお願い」の改正

「論文投稿に際しての編集委員会からのお願い」のうち、「7. 引用文献リスト」に関して、書式具体例を追加した（2009 年 12 月 26 日）。学会ホームページおよび学会誌末尾に掲載。

4. 「学会誌掲載論文の転載に関する内規」の制定

学会誌掲載論文の機関リポジトリ等への転載に関して内規を制定した（2010年6月19日）。

《学会誌掲載論文の転載に関する内規》

1. この内規は、日本キャリア教育学会がその著作権を有する『進路指導研究』第22巻及び第23巻並びに『キャリア教育研究』に掲載された研究論文の転載に関し必要な事項を定める。
2. 『キャリア教育研究』に掲載された研究論文の著者が当該論文を個人のWebサイト、所属機関の機関リポジトリあるいは図書・雑誌等に転載することを希望する場合、事前に転載申請書を本学会に提出するものとする。
3. 転載申請書の様式は任意とするが、申請書には、申請者の氏名、申請年月日、転載を希望する研究論文、転載先および本内規第5項に定める条件に従う旨を記載するものとする。ただし、研究論文の著者が複数の場合、すべての著者による申請書であること、あるいは、申請者以外の著者の同意書を添付することを必要とする。
4. 転載の可否についての審議は、日本キャリア教育学会理事会あるいは常任理事会で行う。
5. 転載の許諾を得た研究論文を著者個人のWebサイト等に転載する際には、当該論文の出典及び当該論文の著作権は日本キャリア教育学会が保有することを明記しなければならない。
6. 本内規の改正は、学会誌編集委員会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

平成22年6月19日 制定

学会ホームページおよび学会ニューズレター第66号に掲載。

2. 研究推進委員会報告（委員長 三村隆男）

・IAEVG 国際大会の日本開催について

平成21年11月5日IAEVG事務局から国際大会の日本開催の打診があった。この間、理事会、常任理事会で検討を行う。開催見積（2社）の検討、関連学会からの意見聴取などを経て、平成22年11月に学会内に特別委員会を設置し検討することになった。検討期間は来年の3月までとし、検討結果を常任理事会にて報告する予定。

・学会員アンケート調査

平成22年5月に実施した学会員アンケート調査については、122名の会員から回答があった。すでに単純集計は終了しており、現在、委員会で報告方法を検討中。来年度の研究セミナーあるいは研究大会にて報告を予定。報告内容は学会誌に掲載予定。

・全国進路指導研究協議全国大会全体研究協議について

例年共同企画している日本進路指導協会主催全国進路指導研究協議全国大会全体研究協議については、今年度は実質的な協力要請はなかった。

3. 情報委員会報告（委員長 松井賢二）

1. JSSCE News Letter（第64号、第65号、第66号）の発行（事務局と共同）

2. キャリア教育関連研究の紹介記事を学会誌『キャリア教育研究』に掲載

○第29巻第1号（2010年10月発行）・・・2009年度分

・紹介した学会（掲載順）：

- ①日本教育社会学会、②日本教育心理学会、③日本学生相談学会
- ④日本高等教育学会、⑤大学教育学会、⑥日本青年心理学会
- ⑦日本発達心理学会

3. 情報委員会の開催

○2010 年 4 月 24 日：キャリア教育関連の紹介記事の執筆分担、等

4. キャリア・カウンセラー資格認定委員会報告（委員長 三川俊樹）

1. キャリア・カウンセラー養成研修講座に関する事項

(1) 2010 年度第 1 回キャリア・カウンセラー養成研修講座

開催日時：2010 年 7 月 4 日(日) 9:20~12:30

会場：エルパーク仙台 セミナーホール（第 28 回研究セミナー会場）

講師：b 分野 加藤道代先生（東北大学大学院 准教授）

「キャリア・カウンセリングに活かす基本的かかわり技法」

c 分野 長須正明先生（東京聖栄大学 教授）

「移行に困難をかかえる若者支援の現状と課題」

受講者数：35 名（事前申込：29 名、欠席：3 名、当日申込：9 名）

(2) 2010 年度第 2 回キャリア・カウンセラー養成研修講座

開催日時：2010 年 11 月 13 日(土) 9:00~12:10

会場：新潟大学 五十嵐キャンパス（第 32 回研究大会会場）

講師：a 分野 小杉礼子先生（労働政策研究・研修機構）

「学校から職業への移行の現状と課題」

c 分野 森田 浩先生（ジョブカフェ石川）

「中学生・高校生のためのキャリア・ガイダンス

～職業生活と学ぶ意義を理解させる～」

2. キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座に関する事項

(1) 2010 年度キャリア・カウンセラー養成研修基礎講座実施状況

開催日時：2010 年 9 月 4 日(土)、5 日(日)

会場：東放学園 新宿研究所（東京都新宿区西新宿 4-5-2）

講座内容：a、b、c 分野開講

a 分野 川崎友嗣先生（関西大学）

「キャリア教育の理解」「キャリアの理論とその適用」

b 分野 三川俊樹先生（追手門学院大学）

「キャリア支援におけるキャリア・カウンセリングの重要性」「キャリア支援に必要なコミュニケーションスキル」「キャリア支援に必要なカウンセリング・スキル」

c 分野 伊藤彰茂先生（愛知みずほ大学）

「産業社会の進展と労働問題」「近代社会の労働力要件からポスト近代における労働能力要件」

「組織内におけるキャリア形成」「日本における『企業』の形態と割合」

修了試験（筆記試験）

受講者数：19 名（欠席：0 名）

(2) 受講結果

修了試験合格者数：17 名（修了試験受験者数：19 名）

3. 新規セミナー：「学生・生徒に対するキャリア支援力のアップ」セミナーに関する事項

開催日時：2010 年 2 月 25 日(木)、26 日(金)

会場：東放学園専門学校 レインボー館（東京都杉並区和泉 2-4-1）

講師：三川俊樹、川崎友嗣、五十嵐敦、伊藤一雄、宗村義隆、伊藤彰茂

受講者数：43 名

4. 地区部会研修とキャリア・カウンセラー養成研修講座の関連性の検討

各地区部会主催の研修ならびにその一部の研修をキャリア・カウンセラー養成研修講座として認定する件について、認定基準を作成することが 2010 年度第 1 回理事会において決定された。今後は認定委員会においてその指針を作成し、具体的な基準づくりを行うこととなった。早ければ 2012 年度より実

施予定。

5. キャリア・カウンセラー資格新制度移行に伴う旧制度での申請受付期間について

◎旧制度による書類申請受付期間 2012 年 3 月末日までに資格認定事務局に申請書類が到着した場合の取扱について。

<移行期間決定の経緯について>

2008 年 11 月開催の定期総会にてキャリア・カウンセラー資格の新制度が承認され、以後旧制度と新制度と平行して資格申請が可能となりました。2008 年 10 月 25 日以前に入会が承認された方は、申請条件を満たせば新制度と旧制度のどちらでも選択して申請することが可能でしたが、旧制度での申請は 2011 年度をもって終了いたします。区切りの期日を明確にするならば、2011 年度の定期総会（第 33 回研究会）までの申請があったものとなりますが、混乱を招く恐れがありますことから、旧制度での書類審査は 2012 年 3 月末日までに資格認定事務局に書類が届いたものに限り受け付けることといたします。なお、面接は書類審査後に行われますので、認定日は 2012 年 3 月以降になる可能性があります。2012 年 4 月より新制度での対応のみになります。

6. キャリア・カウンセラー資格取得・資格更新認定、返還状況

認定日・理事会などでの報告日	新規	更新	返還
①2009 年 12 月 26 日(土)	3	-	-
②2010 年 4 月 24 日(土)	2	-	1
③2010 年 5 月 29 日(土)	2	-	-
④2010 年 7 月 4 日(日)	1	-	-
⑤2010 年 10 月 2 日(土)	-	-	1
⑥2010 年 11 月 13 日(土)	※審査中	2	-

7. 2011 年度事業計画（案）<一部 2010 年度内に開催する講座を含む>

(1) キャリア・カウンセラー養成研修講座の開催

① 1 回目：第 29 回研究セミナー開催時

② 2 回目：第 33 回研究会開催時

(2) 第 3 回キャリア・カウンセラー養成研修**基礎**講座の開催

開催場所：関西地区を予定

開催日時：2011 年 9 月の 2 日間を予定

(3) キャリア・カウンセラー養成研修アドバンス講座（仮称）の開催 [新規開設講座]

養成研修基礎講座と同日、同時帯に開講予定。基礎講座の内容からワンランク上の講座内容とする。

開催場所：関西地区を予定

開催日時：2011 年 9 月の 2 日間を予定

(4) 特別講座（「学生・生徒に対するキャリア支援力のアップ」セミナー等）の開催

開催場所：東京アカデミー名古屋校

開催日：2011 年 2 月 24(木)、25(金)

受講対象：学会員および一般

（特に大学等の就職、キャリア形成支援、キャリア教育等に関心のある方）

講座内容：2009 年度開講の「学生・生徒に対するキャリア支援力のアップ」セミナーと同程度（実践に役立つ内容）の内容。

5. 倫理委員会報告（委員長 本間啓二）

2010 年 4 月 24 日（土） 第 1 回委員会

倫理チェックシート作成について、編集委員会との連携の必要性を確認

2010 年 11 月 14 日（日） 第 2 回委員会（予定）

倫理チェックシートの必要性についての検討と、今後の課題の整理

【研究大会・研究セミナー報告】

1. 第 31 回研究大会報告（大会実行委員長 後藤宗理）

期日：2009 年 11 月 7 日（土）、8 日（日）

会場：楯山女学園大学星が丘キャンパス

テーマ：キャリア教育に求められる実践と研究について考える

参加者数：217 名（うち、非会員 46 名）

報告の詳細は、ニューズレター第 64 号、『キャリア教育研究』第 28 巻第 2 号に掲載

2. 第 28 回研究セミナー報告（セミナー実行委員長 五十嵐敦）

期日：2010 年 7 月 4 日（日）

会場：エルパーク仙台 セミナーホール（宮城県仙台市）

テーマ：キャリア教育に求められる実践と研究について考える

参加者数：60 名

報告の詳細は、ニューズレター第 66 号、『キャリア教育研究』第 29 巻第 1 号に掲載

【地区部会活動】

1. 北海道・東北地区部会活動

第 15 回研究会

開催日：2009 年 12 月 5 日（土） 午後 2 時～4 時

会場：ホテルサンルートプラザ福島 2 階 桜の間

テーマ：若者の「自己価値」のとらえ方

話題提供者：山本 ちか 氏（名古屋文理大学短期大学）

第 16 回研究会

開催日：2010 年 3 月 6 日（土） 午後 3 時～5 時

会場：エルパーク仙台セミナー室

テーマ：若者のキャリア発達について

話題提供者：富永 美佐子 氏（福島大学人間発達文化学類）

第 28 回研究セミナーの開催（北海道東北地区部会第 17 回研究会を兼ねる）

期日：2010 年 7 月 4 日（日）

会場：エルパーク仙台 セミナーホール（宮城県仙台市）

代表：五十嵐敦（福島大学総合教育研究センター）

副代表：菊池武剋（東北大学名誉教授） 吉野泰正（北海道滝川高等学校）

2. 関東地区部会活動

第1回 キャリア教育研修会・総会

平成 21 年 6 月 27 日（土）日本体育大学にて研修会・総会を実施し、45 名参加。

- 1 「医療安全」 松下由美子（山梨県立大学）
- 2 「学校安全」 本間啓二（日本体育大学）
- 3 「労働安全」 古山善一（全国労働基準監督関係団体連合会理事）

第2回 キャリア教育研修会

平成 21 年 7 月 11 日（土）早稲田大学 26 号館（大隈記念タワー）302 号室において開催し、参加者 55 名。
講演「高校進路指導における課題」、講師 株式会社リクルート キャリアガイダンス編集長 角田浩子氏

第3回 キャリア教育研修会

平成21年7月25日（土）日本体育大学において実践発表が開催され、参加者は31名。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 「学校教育と進路指導の実践事例」 | 田代羊吉（元公立中学校校長） |
| 「大学進学指導の現状と課題」 | 千葉裕吉（東京都立晴海総合高等学校） |

第4回 キャリア教育研修会

平成21年9月26日（土）日本体育大学世田谷キャンパス新館 2階 2204教室において開催され、45名の参加。

- 「雇用の安定を基盤とした安心できる勤労者生活のためにー平成21年版労働経済白書をめぐってー」講師 石水喜夫氏（厚生労働省労働経済調査官）
「新しいキャリアカウンセリングの考え方」講師 榎野 潤（労働政策研究・研修機構）

第5回 キャリア教育研修会

平成21年10月10日（土）早稲田大学26号館（大隈記念タワー）302号室において開催されました。

「小学校及び中学校におけるキャリア教育とその連携」

講師 工藤榮一氏（帝京平成大学准教授・元沼津市立原東小学校長）、清水隆彦氏（荒川区立第三中学校長・全国中学校進路指導研究会事務局長）

第6回 キャリア教育研修・研究大会

平成 21 年 11 月 28 日（土）日本体育大学にて研究発表大会を開催。64 名参加

基調講演 「我が国、職業安定行政の職業指導、職業紹介における研究と実践の系譜
ーその不易と流行ー」

講師 木村 周氏（東京成徳大学院・キャリア研究会会長）

午後の部 研究・実践発表・演習

- (1) 発表 「VRT カードの活用の可能性ー対象者の拡大と適切な実施方法の検討ー」 室山晴美（労働政策研究・研修機構）
- (2) 発表 「学生・生徒を育てるキャリアガイダンスー テストバッテリーとグループエクササイズの実践的活用」
阪本三恵子（国際ビジネス専門学校）
- (3) 発表 「毛利小学校キャリア教育モデル」 海藤美鈴（江東区立毛利小学校）
- (4) 発表 「クライシスインターベンションの実際」 金屋光彦（日本体育大学）
- (5) 発表 「中高生の声で“私”が学んだキャリア教育」 中野真理子（キャリアカウンセラー）

パネル発表

- (1) 「資格と進路を関連づけたキャリアガイダンスの授業研究」 町澤京子（キャリア・コンサルタント）
- (2) 「ニート支援のプログラム研究」 島原富士江（キャリア・コンサルタント）
- (3) 「人材サービス業界からみる就業意識と転職活動」 中津川泰弘（キャリア・コンサルタント）

第7回 キャリア教育研修会（追加）

2010 年1月12日（火）早稲田大学「日本とアメリカ合衆国のキャリア教育～学校からキャリアへの接続～」講師 ダリル・T・ヤギ先生（兵庫教育大学特任教授）

3. 中部地区部会活動

1. 第1回研究会（総会時）

- ①日 時：2009年5月10日（日）
- ②場 所：名古屋市立大学人文社会学部棟203教室
- ③参加者：21名（会員18名、非会員3名）
- ③講 演：「ガビョウ型」労働市場社会における〈キャリア教育〉とは？筒井 美紀氏（京都女子大学現代社会学部准教授）

2. 第2回研究会

- ①日 時：2009年12月27日（日）
- ②場 所：名古屋市立大学人文社会学部棟203教室
- ③参加者：37名（会員23名、非会員14名）
- ④講 演：「大学生の進路未決定者研究を重ねてきて」
若松 養亮氏（滋賀大学教育学部教授）

2009年度は、2009年11月7日（土）8日（日）に中部地区部会会員を主体とする日本キャリア教育学会第31回大会を相山女学園大学で開催した。大会の成功に全力を注ぐこととして、例年3回の研究会を開催するところを2回に減らした。

代表：後藤宗理(相山女学園大学)

副代表：浦上昌則(南山大学) 高綱睦美(愛知教育大学)

4. 近畿・中国・四国地区部会活動

第11回研究大会 2010年7月24日（土）13:00～17:00
大阪教育大学天王寺キャンパス中央館214教室にて開催
参加者：43名（会員32名、非会員11名）

講演：「ライフパターン—仕事、家庭、そして第三領域—」 八木隆一郎氏（(社)国際経済労働研究所）
実践報告：「初年次教育としてのキャリアデザイン」 佐藤龍子氏（静岡大学）

代表：藤岡秀樹 京都教育大学)

副代表：伊東眞行（ライフデザイン・カウンセリングルーム）・加澤恒雄（広島工業大学工学部）

5. 九州・沖縄地区部会活動

九州・沖縄地区部会第9回研究大会

開催日：2009年11月14日（土）

場所：九州大学 文・教育・人環研究棟 2F 会議室

開 会 九州・沖縄地区部会 代表挨拶

基調講演 「キャリア教育と能力形成」 永田 萬享 (福岡教育大学)

シンポジウム 「キャリアと適性—向き・不向きをどう捉え、どう生かすか」

コーディネーター 大山 佳三 (熊本学園大学)

シンポジスト 嶋田 文広 (株 パーソナル・マネジメント)

西嶋 敏 (尚絅大学・尚絅大学短期大学部)

松村 直樹 (株 リアセック)

米原 光章 (福岡県公立古賀竟成館高校)

総 会 司 会 吉本 圭一 (九州大学)

交流会 総会終了後は情報交換の機会と親睦の場になりました。

代表 : 永田萬享 (福岡教育大学)

事務局長 : 吉本圭一 (九州大学)

【学会会則改正報告】

2010 年度第 1 回理事会で承認された学会会則(2010 年 4 月 24 日付 施行)

日本キャリア教育学会選挙実施細則

改正点：

旧：

6. 開票 (1) 開票は、選挙年の7 月最終の土曜日に選挙管理委員会が行う。

新：

6. 開票 (1) 開票は、選挙年の7 月 31 日までに選挙管理委員会が行う。

1) 選挙管理委員会規定 (事務局長 中村修)

2010 年度 学会賞 表彰

学会賞選考委員会

委員長：清水和秋 委員：松井賢二、古市裕一、三村隆男、三川俊樹、坂本昭、榎本和生

受賞者：藤田 晃之 氏

2010 年度 学会功労賞 表彰

受賞者 竹内 登規夫 氏

審 議 事 項

1. 2009 年度決算報告および会計監査報告

(事務局長 中村修、 資格認定事務局長 伊藤彰茂、 監事 伊藤一雄、 吉田修)

学会事務局 (一般会計、表彰基金会計、記念行事積立会計)
資格認定事務局

2. 2010 年度上半期予算執行状況 (事務局長 中村修、資格認定事務局長 伊藤彰茂)

学会事務局 (一般会計、表彰基金会計、記念行事積立会計)
資格認定事務局

3. 2011 年度予算(案) (事務局長 中村修、 資格認定事務局長 伊藤彰茂)

学会事務局 (一般会計、表彰基金会計、記念行事積立会計)
資格認定事務局

4. 理事・監事選挙結果

投票期間：2010 年 7 月 1 日～15 日

開票：2010 年 7 月 27 日 会場：東北福祉大学

・中国・四国地区 地区理事再選挙について

開票時、中国・四国地区「地区理事」において、得票者 3 名が「地区理事獲得票同数、全国地区理事・監事においても同得票数」という結果となった。これを踏まえ、選挙管理委員・会長での合議の上、中国・四国地区「地区理事」のみ再選挙を行った。

形式：得票者 3 名からの 1 名選択

投票期間：2010 年 8 月 10 日～8 月 20 日

開票：2010 年 8 月 24 日 会場：国際文献印刷社 本社会議室

(1)投票者数(地区別)

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計	中・四国再選挙
投票者数	12	37	32	26	4	7	118	14
有権者数	74	329	177	163	61	74	878	58
投票率%	16.22	11.25	18.08	15.95	6.56	9.46	13.44	24.14

(1)-2役員別・地区別投票状況

◆全国理事 3名連記

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計
投票者数	12	37	32	26	4	7	118
投票総数	36	111	96	78	12	21	354
白票	12	9	5	7	3	6	42
無効票	0	16	11	3	0	5	35
有効投票数	24	86	80	68	9	10	277

◆地区理事 2名連記、他地区は1名

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計	中・四国再選挙
投票者数	12	37	32	26	4	7	118	14
投票総数	12	74	32	52	4	7	181	14
白票	2	4	0	5	0	0	11	0
無効票	0	11	4	2	1	0	18	4
有効投票数	10	59	28	45	3	7	152	10

◆監事 1名

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計
投票者数	12	37	32	26	4	7	118
投票総数	12	37	32	26	4	7	118
白票	4	4	1	6	2	3	20
無効票	0	7	5	1	0	1	14
有効投票数	8	26	26	19	2	3	84

(2)役員別・地区別有効投票数

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	計
全国理事	24	86	80	68	9	10	277
地区理事	10	59	28	45	3	7	152
監事	8	26	26	19	2	3	84
計	42	171	134	132	14	20	513

(3)役員別得票者・得票数一覧 ※網かけは当選者 全員4年任期

全国理事		地区理事				監事
		北海道・東北	関東	中部	近畿	
三川 俊樹(15票)	鈴木 敏明(3票)	國眼 眞理子(3票)	藤田 晃之(3票)	白木 みどり(5票)	安達 智子(6票)	伊藤 由美子(4票)
白木 みどり(14票)	吉中 淳(3票)	鈴木 敏明(2票)	宮城 まり子(3票)	高網 睦美(3票)	三川 俊樹(4票)	鹿嶋 研之助(3票)
藤田 晃之(13票)	池場 望(3票)	三河 光博(2票)	榎本 和生(3票)	坂柳 恒夫(2票)	松本 剛(4票)	池場 望(3票)
宮城 まり子(12票)	望月 由起(3票)	中村 修(1票)	児美川 孝一郎(3票)	西條 秀俊(2票)	山本 公子(4票)	米澤 義光(3票)
横山 明子(10票)	坂柳 恒夫(3票)	富永 美佐子(1票)	田澤 実(3票)	宮崎 冴子(2票)	新井 肇(3票)	安達 智子(3票)
耳塚 寛明(9票)	高網 睦美(3票)	沼山 博(1票)	野々村 新(2票)	山岸 秀次(2票)	伊東 眞行(3票)	藤田 晃之(3票)
寺田 盛紀(9票)	沼山 博(3票)	計 6名(10票)	萩原 信一(2票)	本間 泰(2票)	以下 15名(21票)	宮城 まり子(3票)
安達 智子(8票)	野々村 新(3票)		工藤 榮一(2票)	以下 10名(10票)	計 21名(45票)	長須 正明(2票)
中村 修(7票)	大野木 裕明(3票)		松下 由美子(2票)	計 17名(28票)		野淵 龍雄(2票)
長須 正明(7票)	河崎 智恵(3票)		以下 36名(36票)			高網 睦美(2票)
鹿嶋 研之助(6票)	千葉 吉裕(3票)		計 45名(59票)	中・四国	九州	吉中 淳(2票)
白井 利明(5票)	中島 満(3票)			井上 泰行(1票)	坂本 昭(2票)	松本 卓三(2票)
児美川 孝一郎(4票)	日向 正志(3票)			塗木 利明(1票)	中島 弘和(2票)	本間 研一(2票)
富永 美佐子(4票)	松本 剛(3票)			原口 恭彦(1票)	安部 恵美子(1票)	以下 50名(50票)
榎本 和生(4票)	以下 87名(100票)			計 3名(3票)	内川 信男(1票)	計 63名(84票)
永作 稔(4票)	計 118名(277票)				田村 隆一(1票)	計 3名(10票)
野淵 龍雄(4票)					計 5名(7票)	

5. 新役員名簿(案)

会長 菊池武剋

副会長

常任理事

事務局長 中村 修

理事・・・○印は新任(2014 年まで任期)、印のない場合は継続(2012 年まで任期)

[地区選出理事] 16 名

北海道・東北地区 菊池武剋 (東北大学)、○國眼眞理子 (東北公益文科大学)

関東地区 本間啓二 (日本体育大学)、三村隆男 (早稲田大学)、

○藤田晃之 (国立教育政策研究所、文部科学省)、○宮城まり子 (法政大学)

中部地区 伊藤彰茂 (愛知みずほ大学)、後藤宗理 (相山女学園大学)、○白木みどり (上越教育大学)

近畿地区 川崎友嗣 (関西大学)、○三川俊樹 (追手門大学)、○安達智子 (大阪教育大学)

中国・四国地区 加澤恒雄 (広島工業大学)、○原口恭彦 (広島大学)

九州地区 吉本圭一 (九州大学)、○坂本昭 (福岡大学)

[全国理事] 6 名

清水和秋 (関西大学)、三宅章介 (東海学園大学)、松井賢二 (新潟大学) ○横山 明子 (帝京大学)

○耳塚寛明 (お茶の水女子大学)、○寺田盛紀 (名古屋大学)

[会長指名理事]

監事 伊藤一雄 (高野山大学)、○伊藤由美子 (愛知みずほ大学)

事務局 (株) 国際文献印刷社

6. IAEVG 国際大会 日本開催の検討について

1) 経緯：

2009 年度第 2 回理事会：

三村常任理事より、IAEVG より 2～3 年後の日本での開催の打診があったことが報告された。5 日間程度の大会もしくは 3 日間程度のセミナーのいずれかの形態が想定されること、過去の日本開催時の状況等が報告された。会長より、開催の運びとなる際には関連諸学会との共同開催の形式を検討すること、本学会においては専門の対応組織を作る必要があることが述べられた。次回理事会で改めて検討することとし、会長より三村常任理事と松井常任理事に今後の情報収集等が依頼された。

2009 年度第 2 回常任理事会：

IAEVG 国際大会の日本開催案について、開催時期は 2013 年が IAEVG より案として提示されていること、今後国際学会開催に関する実績のある業者と予算規模等を明確化する打ち合わせを行っていくことが報告された。

2009 年度第 3 回理事会：

IAEVG 国際大会日本開催案について、2013 年 9 月開催と想定した場合の業者 2 社からの見積案が提示された。見込まれる参加者・発表者数・発表件数の問題、参加費の設定の問題等が出席者から出され、開催する場合の協力・連携等について関連他学会に意向を打診する調査を次回常任理事会までに行うこととなった。

2010 年度第 1 回常任理事会：

関連学会に対する意向調査の結果（2 団体より回答）、IAEVG を過去に開催した諸外国の情報、他学会での国際学会日本開催の準備状況等が報告された。討論の結果、2013 年の開催は見送ること、そしてそれ以降の開催を検討するために特別委員会を 2010 年度定期総会後に発足させ、2010 年度末をめどに一定の方向を打ち出すこととなった。

2010 年度第 1 回理事会

IAEVG より当初検討を依頼された 2013 年度開催は見送ることとし、2015 年度もしくは 2016 年度開催を検討する特別委員会を設け検討することとなったことが報告された。

2) 特別委員会の設置（案）：

名称：国際大会招致検討委員会

委員会構成： 委員長 三村隆男 委員 松井賢二、下村英雄、宮城まり子

検討結果は 2010 年度第 3 回理事会（2011 年 3 月予定）にて審議され、それに基づいて IAEVG に報告される予定である。

7. 第 29 回研究セミナー開催(案)

実行委員会：関東地区部会（実行委員長：三村隆男）

会場：早稲田大学国際会議場（井深大記念ホール）

期日：2011 年 6 月 19 日(日)

8. 第 33 回研究大会・定期総会開催(案)

1. 日 程：2011 年 11 月 12 日(土)～13 日（日）(予定)

2. 会 場：日本体育大学

3. 問合先：本間啓二（日本体育大学）

9. その他

【資料 1】

会員異動 (2009 年 11 月 7 日～2010 年 10 月 2 日)

入会者：98 名、2 団体 退会者：57 名、2 団体 物故者：3 名

【資料 2】

日本キャリア教育学会役員名簿

2010年10月現在

役職名	所属地区部会	氏名	所属等
会長	北海道東北	菊池 武烈	東北大学 名誉教授
副会長	近畿	清水 和秋	関西大学 社会学部
常任理事	中部	伊藤 彰茂	愛知みずほ大学 就職指導室
	近畿	川崎 友嗣	関西大学 社会学部
	中国四国	古市 裕一	岡山大学 教育学部
	関東	本間 啓二	日本体育大学 体育専攻科
	中部	松井 賢二	新潟大学 教育学部
	関東	三村 隆男	早稲田大学大学院 教職研究科
理事	中部	三宅 章介	東海学園大学 経営学部
	関東	木村 周	
	関東	小杉 礼子	労働政策研究・研修機構
	中部	竹内 登規夫	愛知教育大学 教育学部
	北海道東北	五十嵐 敦	福島大学 総合教育研究センター
	関東	下村 英雄	労働政策研究・研修機構
	関東	佃 直毅	
	中部	後藤 宗理	相山女学園大学 看護学部
	中部	浦上 昌則	南山大学 人文学部
	近畿	古川 雅文	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科
	近畿	若松 養亮	滋賀大学 教育学部
	中国四国	加澤 恒雄	広島工業大学 工学部
	九州	吉本 圭一	九州大学 人間環境学研究院
	九州	永田 萬享	福岡教育大学 教育学部
	関東	榎本 和生 *	多摩美術大学 美術学部
	中部	坂柳 恒夫 *	愛知教育大学 教育学部
	北海道東北	鈴木 敏明 *	東北大学 高等教育開発推進センター
	近畿	三川 俊樹 *	追手門学院大学 心理学部
	関東	横山 明子 *	帝京大学 理工学部
	北海道東北	中村 修	東北福祉大学 総合福祉学部
事務局長		国際文献印刷社	
事務局(委託)			
監事	近畿	伊藤 一雄	高野山大学 文学部
	関東	吉田 修	労働政策研究・研修機構

* 会長指名理事

委員会名簿

学会誌編集委員会

委員長 古市裕一 副委員長 浦上昌則
 常任編集委員 横山明子 若松養亮 古川雅文 後藤宗理 清水和秋
 編集委員 五十嵐敦 下村英雄 三宅章介 川崎友嗣 吉本圭一 加澤恒雄 永田萬享 小杉礼子
 室山晴美 安達智子 河崎智恵 小泉令三 白井利明 高綱睦美 永作稔 廣瀬英子
 藤岡秀樹 望月由起

研究推進委員会

委員長 三村隆男 副委員長 吉本圭一
 委員 本間啓二 榎本和生 下村英雄 工藤榮一

情報委員会

委員長 松井賢二 副委員長 榎本和生
 委員 五十嵐敦 佃直毅 後藤宗理 古川雅文 坂柳恒夫 鈴木敏明 西條秀俊

キャリア・カウンセラー資格認定委員会

委員長 三川俊樹 副委員長 伊藤彰茂 川崎友嗣
 委員 伊藤一雄 五十嵐敦 伊藤由美子 松井賢二

倫理委員会

委員長 本間啓二
 委員 若松養亮 横山明子 小杉礼子 望月由起 木村周

選挙管理委員会

委員長 坂柳恒夫
 委員 中村修 鈴木敏明 高綱睦美